

社会資本総合整備計画 中間評価書

令和4年7月19日

計画の名称	22 晴れの国おかやま生き活きプランによる防災対策の推進（防災・安全）							重点計画の該当				
計画の期間	平成31年度 ～ 令和5年度（5年間）			交付対象	岡山県、倉敷市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、備前市、赤磐市、真庭市、美作市、浅口市、早島町、鏡野町、勝央町、奈義町、久米南町、美咲町、吉備中央町、津山市、矢掛町、西粟倉村							
計画の目標	「道路の防災・耐震対策」による命を守るインフラの強化及び「歩道整備・道路照明更新等」による事故防止対策や生活空間確保に資する施設の整備・更新を行い、安心して住み続けることのできる地域づくりを進める。											
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時における通行安全確保率を6%向上 ・事故対策により死傷事故件数を概ね50%減少 											
定量的指標の定義及び算定式								定量的指標の現況値及び目標値			備考	
								当初現況値 (H31当初)	中間目標値 (R3末)	最終目標値 (R5末)		
① 災害時通行安全確保率の確保 Σ事業後の対策箇所数（耐震、防災） / Σ事業前の要対策箇所数（耐震、防災） × 100								36%	39%	42%		
② 事故対策による死傷事故件数の減少割合（死傷事故減少率） 死傷事故減少率 = （整備前死傷事故件数 - 整備後死傷事故件数） / （整備前死傷事故件数） ※死傷事故件数は岡山市分を除く								0%	25%	50%		
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	27,750百万円	A	27,720百万円	B	0	C	30	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.10%

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

事後評価（中間評価）の実施体制	中間評価の実施時期
	令和4年7月
岡山県において評価を実施	公表の方法
	岡山県ホームページで公表

○事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・（国）429号等の道路整備を行った結果、災害時通行安全率の確保が図られた。									
II 定量的指標の達成状況	指標①（災害時通行安全確保率の確保）	中間目標値	39.0%	目標値と実績値に差が出た要因	・計画的に橋梁耐震や道路防災等の道路整備を進めた結果、目標達成できた。 ・効果的な道路整備を進めた結果、死傷事故件数の減少が図られた。しかし、限られた予算の中で、国道や主要地方道の対策を優先した結果、一般県道および市町村道の死傷事故件数の減少率が低く、目標達成に至らなかった。						
		中間実績値	39.9%								
	指標②（事故対策による死傷事故件数の減少割合（死傷事故減少率））	中間目標値	25.0%								
		中間実績値	17.0%								
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況											

○特記事項（今後の方針等）

・今後も引き続き、効果的な道路整備を進めていく。